



第32回駿輝祭のご案内 10月27日(土)・28日(日)に開催いたします!

第32回駿輝祭 同窓会・父母会共催

渡部陽一氏 講演会

世界からのメッセージ

～希望ある明日のために～

プロフィール



1972年9月1日、静岡県富士市生まれ。明治学院大学法学部法律学科卒業。学生時代から世界の紛争地域の取材を続け、戦場のリアルな声を伝えている。訪れた国は130カ国以上にのぼる。これまでの主な取材地として、イラク戦争のほかルワンダ内戦、コソボ紛争、チェチェン紛争、ソマリア内戦、アフガニスタン紛争、コロンビア左翼ゲリラ解放戦線、スーダン、ダルフル紛争、パレスチナ紛争など。著書に「報道されなかったイラクと人びと」(新風舎)「世界は危険で面白い」(産経新聞出版)「MOTHER-TOUCH 戦場からのメッセージ」(辰巳出版)「はくはくは戦場カメラマン」(角川つばさ文庫)「硝煙の向こうの世界-渡部陽一が見た紛争地域-」(講談社)、CD「渡部陽一の世界名作童話劇場 日本篇」[Father's Voice](ピクチャーエンタテインメント)がある。2010年からTBSテレビ「笑撃!ワンフリーズ」に出演、独特の語り口が注目される。

同時開催
渡部陽一氏
写真展

日時 2018年10月27日(土) 13:00～
場所 駿河台大学 第二講義棟4階 7405教室

入場無料
(先着順・申込不要)

同窓生のみならず、恒例の駿輝祭のご案内です。今年度の駿輝祭のテーマは「Bouvardia」です。駿輝祭実行委員長によれば「皆さんBouvardiaをご存知でしょうか。これは花の名前で、駿輝祭が開催される10月に咲く花です。そして、花言葉が「交流・親交・情熱」です。駿輝祭はこれまで、数多くの方々を支えられ開催されてきました。その感謝を込めて、来場者の方々、地域の方々、そして学生同士の交流の場となり、親交を深めてもらいたいと思い、このテーマに決めました。」とのこと。卒業生による模擬店も出店されますので、駿輝祭と一緒に楽しんでいただきたいと思います。なお、例年、駿輝祭初日に開催している父母会との共催講演会は、戦場カメラマンとして有名な「渡部陽一」氏をお招きして「世界からのメッセージ～希望ある明日のために～」をテーマにお話しいただくことになっています。

また、今年も講演会の後に懇親パーティーを行いますので、和やかな雰囲気の中で懐かしい同窓生や教職員との懇談を楽しんでいただければと思います。是非この機会に、大学時代のご友人と連絡を取り合い、母校に遊びに来てください。例年、お子様連れの方も参加して下さっておりますので、お子様連れでも気兼ねなくお越しいただけます。

最後に、当日はゼミナール展も開催します。同窓生の投票によって「同窓会賞」を選び表彰(副賞付)しており、後輩の励みとなりますので、投票にご協力をお願いします。それでは、多くの同窓生の参加をお待ちしています!

ホームカミング
ゲーム懇親会

軽食(オードブル・サンドウィッチ・デザート等)とお飲み物をご用意してお待ちしています。
日時：10月27日(土) 15時～16時30分
場所：第二講義棟15階 スカイラウンジ
会費：無料

学内イベント
当日の

- 人気声優トークショー 出演：安元洋貴
- お楽しみステージ
- スタンプラリー
- フリーマーケット

その他、イベント盛りだくさん!!

2018年度プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞 受賞記念講演会のご案内

駿河台大学では、2011年度から、教育・研究・社会貢献活動等において顕著な業績を挙げた専任教員に対し「プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞」を授与しています。

今年度の受賞者に選ばれましたメディア情報学部の塚本美恵子教授



自主防犯活動団体を啓蒙する映像教材を埼玉県警察本部生活安全部及び埼玉県県民生活部に引渡し、感謝状を受け取る贈呈式の様子。前列左から2番目が塚本教授。

は、英語教育・異文化間教育・メディアリテラシー教育への多大な貢献が評価され、受賞に至りました。

この度、同賞受賞を記念して講演会が開催されることとなりましたので、多くの皆様にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

【講演会内容】

テーマ	地域とつながる」教育実践～情報発信と地域貢献～
講師	メディア情報学部 塚本美恵子 教授 (2018年度プロフェッサー・オブ・ザ・イヤー賞受賞者)
日時	10月27日(土) 駿輝祭初日 11:00～12:00
場所	駿河台大学第二講義棟2階 7201教室
その他	申込不要・入場無料

【問い合わせ先】

駿河台大学 学務企画課
TEL：042-972-1141 E-mail：gakumu@surugadai.ac.jp

2018年度 同窓会総会・懇親会開催報告

<総会>

5月19日(土)、駿河台大学第二講義棟14階会議室において平成30年度の同窓会総会が開催されました。総会は、14時から開始され、冒頭、同窓会名誉顧問である吉田恒雄 学長よりご挨拶をいただきました。

<平成30年度 同窓会総会学長挨拶>

皆さんこんにちは、只今ご紹介いただきました学長の吉田でございます。同窓会の皆様におかれましては、日頃より、本学の教育・学生支援・就職等の活動に対し多大のご協力、ご支援を賜り、篤く御礼申し上げます。皆様のご支援により、学生が充実した環境で勉学に励み、スポーツ等の課外活動にいそしみ、学生生活を送ることができていることに感謝申し上げます。

特に昨年度は、大学への財政的支援として、大学への卒業寄付では、各運動部の活動のための「超音波治療器」や「低周波治療器」をいただきました。授業の面では、「インターンシップⅠ」や「森林文化Ⅰ・Ⅱ」、「まちづくり実践」の実施の経費について御支援をいただき、駿輝祭など、学生の主体的な活動を支援する「学生応援企画費」へのご援助があり、優秀な展示、発表の表彰をいただきました。学生たちにとって、とても励みになったと思います。加えて、各種検定試験受験料の補助をいただき、学生の勉強のモチベーションを高めると共に、就職に活かせる資格取得にもつながりました。これにより、本学の教育の充実、就職活動の活性化につながり、教育力の駿大としてアピールすることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

それでは、ここで本学の状況を簡単に述べさせていただきます。現在、本学の教育の質の向上に向けた取り組みの方針である「グランドデザイン2021」では、そのための基盤の充実として、①入学定員の確保・収容定員の充足 ②中途退学者の減少 ③高い就職率の維持 を継続的な目標としています。

そのうち、入学定員の確保については、昨年度入試では、一昨年度を大幅に上回る入学定員を確保することができました。昨年度の入学定員充足率が1.05だったのに対して、今年度の入学者は1,082人となり、入学定員の1.19倍の確保となりました。これにより、在籍学生も定員の0.95倍となり、大学全体の定員充足まであと一歩というところまで近づいて参りました。確かに、このような結果が得られた理由としては、好景気に支えられて大学進学率が上昇したことに加え、なんとといっても東京23区内の大規模大学の定員抑制政策によるところが大きいといえます。しかし、こうした外部的要因だけでなく、本学がこれまで「愛情教育」の精神に支えられ、「ひとりひとり」に向き合った指導や就職支援を行ってきた成果が社会にしっかりと評価され、受け止められた結果が、受験生に選ばれる大学としての評価につながったと言えます。大学としては、急遽、クラスを増やしたり、オリエンテーションキャンプのバスを追加したりと、久しぶりに、忙しくもうれしい対応に追われた次第です。

就職の方も、素晴らしい成果を上げています。一昨年度の就職率は、96.3パーセントと上限近くに達したのですが、昨年度はこれを更に上回り、97.7パーセントとなりました。特に注目すべきは、就職希望者が増加したなかでの就職率の上昇ですから、いかにきめ細かい就職指導がなされているかの証しであると言って過言でないと思います。

また、警察や行政職を含めた公務員就職状況や資格試験の合格者も好調です。

第三の中途退学の防止ですが、これはなかなか難しい課題ですが、こちらも改善の兆しを見せています。全学の中途退学率は、一昨年度に比べて若干の改善にとどまっていますが、特に昨年度1年次生の退学率が低下しました。これは、これまでの退学状況を詳しく分析した結果、特に1年次生の春学期の出席状況が重要であることが明らかになりましたので、ゼミ教員、職員が一体となって出席状況を把握、共有し、学生の相談・支援に対応した結果であると言えます。ここにも、「ひとりひとり」を大切にす

教育の成果が現れているといえるでしょう。

このような改善の動きを更に加速するために、本学の教育内容も大きく変わろうとしています。

この春には、現在の現代文化学部を改組して、新たに「(仮称)スポーツ文化学部」の設置認可申請をしたところであります。スポーツを文化の面からとらえ、アスリートの育成はもちろん、体育の教員養成やスポーツ関係の企業への就職も視野に入れた新たなスポーツ系の学部を作ることになっています。設置認可が下り次第、積極的に志願者確保にかかりますので、皆様のお知り合いでスポーツ系学部への進学を考えている方がおられましたら、ぜひご紹介下さるよう、お願い申し上げます。

その他、今年の春から経済経営学部には、観光&国際ビジネスコースが設けられ、実務面を重視した教育が行なわれています。また、メディア情報学部ではアニメーション関係の科目を充実させ、最先端の機材を揃え、デジタル技術を駆使したアニメーション制作ができる人材を育てることにしています。その他、心理学部での公認心理師資格取得に向けた対応や法学部の取り組みもあり、新たな状況に応じて、教育内容を充実させており、今後が楽しみです。

さて、スポーツ関係でも顕著な活躍が見られます。昨年度は、駅伝部の箱根駅伝本戦や学連選抜としての出場はなりませんでした。着実にタイムを縮めておりますし、今年は新たに力強い新入生も入部しましたので、今年の駅伝部の活動は大いに期待できるところです。

特に陸上競技部は、男女ともに好成績をあげ、駿大陸上部の名前が全国レベルになってきています。昨年の第96回関東学生陸上競技対校選手権大会では、男子4×400mリレーにおいて大会新記録で優勝し、日本学生陸上競技個人選手権 男子400mでは、若林選手が優勝しました。日本学生陸上競技選手権大会には、本学陸上競技部からも多くの選手が出場し、女子400mハードル決勝では吉田佳純さんが1年生ながら2位に入賞、女子4×400mリレー決勝では昨年に続き3位入賞を果たしました。そして、吉田さんは、U20日本陸上競技選手権大会で見事、優勝を果たし、6月には、ご本人の地元である岐阜県で開催される「アジアジュニア陸上競技選手権大会」に日本代表として出場します。また、若林選手は、明日、大阪で開催される「セイコーゴールデングランプリ大会」に招待選手として出場することになっており、TV中継も予定されておりますので是非ご覧ください。

その他、硬式野球部も、1部で奮闘しておりますし、ハンドボール部、ホッケー部も活躍しています。

これら教育やスポーツ、課外活動は、同窓会の皆様の御支援に支えられ、たいへん充実すると共に、その成果も着実に上がっております。更に今年は、同窓会の有志の方には本学の「市民の大学」で講師も務めていただくことになっており、大学教員とは異なる、実務の面からの貴重なお話を伺うことができることになりました。

以上のように同窓会の皆様のご支援により、教育、学生支援、地域貢献等の各分野での御支援をいただき、本学のさまざまな活動が大いに充実してきています。本学が今後更に教育の質を向上させ、地域の知の核としての役割を十分に果たすことができますよう、今年度も引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが、同窓会の活動が更に活発になることを願って、同窓会総会のご挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。



平成30年度同窓会総会議事

- (1) 同窓会会則改正(案)について
- (2) 役員改選(案)について
- (3) 平成29年度事業報告及び収支決算報告について
- (4) 平成29年度監査報告について
- (5) 平成30年度事業計画及び収支予算案について

(1) 同窓会会則改正(案)について

同窓会活性化への対応を目的として、同窓会会則が以下のとおり改正されました。

新	旧
(役員) 第5条 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。 会長1名 副会長3名 会計2名 委員 若干名 会計監査2名 幹事 若干名 付則 平成30年5月19日一部改正	(役員) 第5条 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。 会長1名 副会長2名 会計2名 委員 若干名 会計監査2名 幹事 若干名

(2) 役員改選(案)について

任期満了に伴う役員改選が行われ、次のとおり承認されました。(太字が新任、他は再任)

役 職	氏 名	卒業年	学 部
会 長	新井 克明	平成12年卒	文化情報学部
副会長	富岡 勇哉	平成4年卒	法学部
	廣瀬 尚	平成5年卒	法学部
	岡部 浩一	平成20年卒	経済学部
会 計	市川 紀子	平成7年卒	法学部
	飯塚小姫子	平成13年卒	文化情報学部
会計監査	朝田 淳	平成15年卒	文化情報学部
	船津丸 仁	平成18年卒	経済学部
委 員	桐生 岳	平成5年卒	法学部
	中島 俊夫	平成7年卒	法学部
	長嶋 亮吉	平成7年卒	経済学部
	武富 倫代	平成8年卒	法学部
	渡部 成人	平成9年卒	法学部
	三枝 桂子	平成18年卒	現代文化学部
	林 浩一	平成20年卒	法学部
	引木 智徳	平成26年卒	現代文化学部
役 職	氏 名	職 名	
幹 事	大森 一宏	副学長(教務担当)	
	本池 巧	副学長(就職担当)	
	黒田 基樹	副学長(入試広報担当)	
	狐塚賢一郎	副学長(学生支援担当)	
	雷 光一	キャリアセンター事務部長	
	早川 泰文	学生支援部長兼同窓会事務局長	

(3) 平成29年度事業報告及び収支決算報告について

(4) 平成29年度監査報告について

平成29年度の主な事業活動として、以下の報告がなされました。

- ① 平成28年度卒業生から大学への卒業寄付：各運動部の活動において、怪我の予防や怪我からの早期回復の効果が期待できる「超音波治療器」と「低周波治療器」を贈呈
- ② 定期総会・懇親会の開催：5月20日(土)都内ホテルグランドパレスにおいて同窓会総会及び懇親会を開催。同窓会員及び教職員を含め約140名が参加。
- ③ ホームカミングデーの実施：駿輝祭開催日(初日)の10月28日(土)に父母会との共催講演会を開催。TBS系列「ひるおび」レギュラーの八代英輝氏を招き「知っているのと得する法律の豆知識」

と題して開催。聴衆は約450名。

講演会終了後には、同窓会員及び教職員など約150名参加による懇親会を開催。

- ④ 支部会開催補助：7月22日(土)群馬支部が「駿河台大学 新OB歓迎会ー卒業おめでとう！&ようこそ群馬に！ー」を開催。同窓会支部規約に基づき、資料代、懇親会費、交通費等を補助。また、12月9日(土)沖縄県那覇市のホテルロイヤルオリオンにおいて沖縄支部会を開催。沖縄県出身及び在住の卒業生20名が参加。支部会の後、父母会と合同で懇親会を実施。
 - ⑤ 同窓会寄附講座：「インターンシップI」「森林文化I・II」「まちづくり実践」の3講座に対し資金を支援。
 - ⑥ オリンピック出場選手への援助：2月に開催された平昌五輪に出場したカーリング男子日本代表の清水徹郎選手(経済学部・H22年卒)及び3月に開催された平昌パラリンピックに出場した鈴木猛史選手(メディア情報学部・H23年卒)に激励金を贈呈。
 - ⑦ 給付奨学金事業：同窓生子女を対象とした給付奨学金制度。平成29年度は、3件の申請があり、各々入学初年度の授業料の半額を同窓会から給付奨学金として支給。
 - ⑧ 準会員の各種検定試験受験料補助：各種検定試験等を受験する学生対して、受験料の半額を補助。
 - ⑨ 準会員との交流事業支援：キャリアセンター及び各学部が実施する卒業生を活用した就活支援行事の実施経費を支援。
- 引き続き、会計監査担当者による監査報告の後、議題は承認されました。

(5) 平成30年度事業計画及び収支予算案について

前年度実施した事業を継承しつつ、会員相互の親睦と母校発展に寄与する事業計画が説明され、予算案と併せて承認されました。
※平成30年度事業計画及び収支予算案の詳細については、同窓会ホームページをご覧ください。

<懇親会>

総会終了後、会場を「ホテルヘリテージ飯能」に移して、懇親会が開催されました。同窓生に加えて、大学の教職員並びに名誉教授の先生方にもご参加いただき、総勢140名を超える盛大な懇親会となりました。宴の中では、日頃の同窓会からの支援に対するお礼として、モダンジャズ研究会の学生による演奏も披露され、大いに盛り上がりとともに恩師、旧友との交流を図ることのできる楽しいひと時となりました。

今年は残念ながら欠席された方も、来年は是非ご参加ください。



同窓会事務局より

【重要】同窓会本部では、卒業生の「人材バンク」機能の構築を進めています。現役学生に対する講座の講師役や就職座談会などへの支援をお願いする際に活用していきたいと考えています。追って、同窓会本部や大学関係者より事前に「人材バンク」への登録可否を伺う連絡が入る場合がございますので、予めご承知いただくとともに登録にご理解ご協力のほどお願いいたします。

新役員紹介

役員改選により、武富倫代さん(たけとみ みちよ/法学部・96年卒)を新役員に迎え、同窓会の発展にご尽力いただくことになりました。

①今のお仕事は？

自宅近くのオフィスで事務の仕事をしています。振り返ってみると、大学を卒業してから途切れることなく働き続けております。結婚、出産を経て、今は子育てとの両立を優先に長年培われた事務スキルをフルに活用しております。

②どのような学生時代でしたか？

大学キャンパスは緑も多く、とても居心地の良い環境でした。在学中は教職課程を履修しておりましたし、オリエンテーションキャンプのスタッフ、男子バスケットマネージャー、バスケットサークル所属と、バイト以外はどうぶりと大学ライフをエンジョイしておりました。先輩方にとっても面倒を見ていただいた事、今でも感謝しております。同じ方向を向く仲間達に恵まれたことは自身の成長にもなり大変有り難く、その後の人生も豊かになったなあとしみじみ感じております。専攻の吉田恒雄先生のゼミでは親族法・相続法、福祉に関する法律を学び、社会で身近に取り上げられている問題に向き合い、分析すること、自分の意見を持つように日々訓練されました。また四季折々のイベントも多くゼミの仲間達との思い出は破壊力満点忘れられないものばかりです。

③同窓会員に向けて一言お願いします

この度、ご縁がありまして同窓会役員を務めさせて頂くこととなりました。わたし自身も親となり子供達にとってどのような大学が選ばれるのだろうか、第三者の目線でも魅力あるキャンパスに繋がる支援、母校が盛り上がっていきけるような改革を微力ながら提案していけたらと思っております。みなさま宜しくお願いいたします。



卒業記念品を贈呈しました

2017年度卒業生から大学への卒業記念品として、メディアセンターにタワー型スリムファンを贈呈しました。メディアセンターのお礼の言葉が、大学ホームページ等に掲載されましたので、ご紹介いたします。

「メディアセンターでは、このほど、駿河台大学同窓会より、タワー型スリムファン23台をご寄贈いただきました。今年の夏は、例年に比べ、たいへんに暑い日が続いており、春学期末の定期試験に向けて熱心に学習する学生にとっては、体調管理に厳しい夏となっております。ご寄贈いただきましたスリムファンは1階PCエリア、2階AVエリア、3・4階図書エリアはもちろん、5階ビューラウンジにも設置させていただき、メディアセンター利用者にたいへん喜ばれています。駿河台大学同窓会からは、毎年、現役生の学生生活の充実に供するご寄付をいただき、誠にありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。」



ゴルフ部OBコンペを開催

平成30年3月11日(日)に、茨城県の霞台カントリー倶楽部にて、第40回ゴルフ部OBコンペを開催致しました。春暖の心地よい気候の中、卒業生8名、そこに現役生5名とゴルフ部顧問の松平先生にも参加をしていただき、合計14名にて相互の懇親を深めることができました。現在、ゴルフ部OB会には約90名の卒業生がおります。卒業生相互の懇親を目的に年2回(春・秋)のゴルフコンペを開催し、さらに現役ゴルフ部員の有志にも参加をしてもらう事で交流を深めております。仕事の都合や現住所の関係で参加ができない卒業生も多くありますが、今後もゴルフ部のOB・OGに声をかけ、継続的に開催を行いたいと思っておりますので、関係者の皆様には引き続きご理解ご協力をいただければ幸いです。(市川敦士 法学部・98年卒)



卒業生子弟への学費支援について

駿河台大学では、同窓生のお子さんが母校(本学)に入学する場合、大学と同窓会で大きな学費支援を用意しています。受験期のお子さまをお持ちの同窓生の皆さん、母校への進路を是非ご検討ください。

①入学金 全額免除：大学給付制度

②授業料 半額相当額給付：同窓会給付制度

※入学初年度に限り給付するもので、継続はありません。
詳しくは、同窓会ホームページをご覧ください。

駿河台大学貸与奨学生・日本学生支援機構奨学生の方へ

駿河台大学貸与奨学生の方

毎年11月頃に、本学よりご登録住所へ「償還通知」をお送りしています。その後、振込用紙をお送りしますので、12月末日までに返還金の納入をお願いいたします。

日本学生支援機構奨学生の方

奨学金の返還は、卒業した年の10月27日(金融機関が休業日の場合は翌営業日)から、月賦返還または月賦・半年賦併用返還により行われます。ただし、奨学金の返還が経済的に困難になった場合は、「奨学金返還期限猶予願」もしくは「奨学金減額返還願」を日本学生支援機構に提出し、必ず手続きをしてください。各手続の詳細については日本学生支援機構のホームページをご覧ください。奨学金返還相談センターにご相談ください。

支部会連絡先

北海道支部会 上見国敏さん(経済学部・95年卒)
☎0154-24-3811

新潟支部会 大平一貴さん(経済学部・95年卒)
☎090-7813-2575
barohhira26@gmail.com

長野支部会 樋口雄一さん(法学部・93年卒)
☎090-3276-7929
sundai-nagano@answerwind.com

山梨支部会 塩澤清志さん(法学部・91年卒)
dousou@surugadai.ac.jp(同窓会事務局宛て)

群馬支部会 桐生 岳さん(法学部・93年卒)
☎090-8840-6123
sundai-gunma@answerwind.com

沖縄支部会 崎原正平さん(法学部・09年卒)
☎080-6491-9979